

グローバル・バリュース・オープン

運用報告書(全体版)

第44期（決算日2018年11月28日）

作成対象期間（2018年5月29日～2018年11月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 1996年11月29日から2026年11月30日までです。 | |
| 運用方針 | 内外の株式（DR（預託証書）を含みます。）およびグローバル・バリュース・オープンと実質的に同一の運用の基本方針を有する親投資信託であるグローバル・バリュース・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、配当利回り等の各種バリュース指標をもとに、ポートフォリオマネージャーの判断に基づき割安と思われる銘柄に投資を行うことを基本とします。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質外貨建て資産の為替ヘッジについては、弾力的に為替ヘッジ比率の変更を行うことを基本とします。 | |
| 主な投資対象 | グローバル・バリュース・オープン | 内外の株式（DR（預託証書）を含みます。）およびグローバル・バリュース・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | グローバル・バリュース・オープン マザーファンド | 内外の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | グローバル・バリュース・オープン | 株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | グローバル・バリュース・オープン マザーファンド | 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 年2回の毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 | |

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 基準価額 | | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産額 |
|------------------|---------------|------|-----|------|--------|------|--------|--------|------|
| | | 税金 | 込配 | み金 | 期騰 | 落 | | | |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | % | % | 百万円 | |
| 40期(2016年11月28日) | 12,923 | | 200 | 5.2 | 4.2 | 98.6 | — | 4,021 | |
| 41期(2017年5月29日) | 14,169 | | 250 | 11.6 | 10.1 | 98.3 | — | 4,034 | |
| 42期(2017年11月28日) | 14,774 | | 300 | 6.4 | 7.2 | 98.3 | — | 3,873 | |
| 43期(2018年5月28日) | 14,396 | | 300 | △0.5 | 1.4 | 98.1 | — | 3,770 | |
| 44期(2018年11月28日) | 14,808 | | 300 | 4.9 | △1.6 | 97.8 | — | 3,950 | |

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* ベンチマーク (=MSCIワールド インデックス フリー (円換算ベース)) は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース) をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。

* MSCI World Index Freeに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI社に帰属しております。
(出所) MSCI、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|---------------------|--------|--------|------|--------|--------|
| | | 騰落率 | 騰落率 | | |
| | 円 | % | % | % | % |
| (期首) 2018年5月28日 | 14,396 | — | — | 98.1 | — |
| 5月末 | 14,236 | △1.1 | △1.1 | 96.9 | — |
| 6月末 | 14,476 | 0.6 | △0.6 | 97.1 | — |
| 7月末 | 15,117 | 5.0 | 3.0 | 97.2 | — |
| 8月末 | 15,403 | 7.0 | 4.8 | 96.9 | — |
| 9月末 | 15,915 | 10.6 | 7.5 | 97.4 | — |
| 10月末 | 14,819 | 2.9 | △2.1 | 97.2 | — |
| (期末) 2018年11月28日 | 15,108 | 4.9 | △1.6 | 97.8 | — |

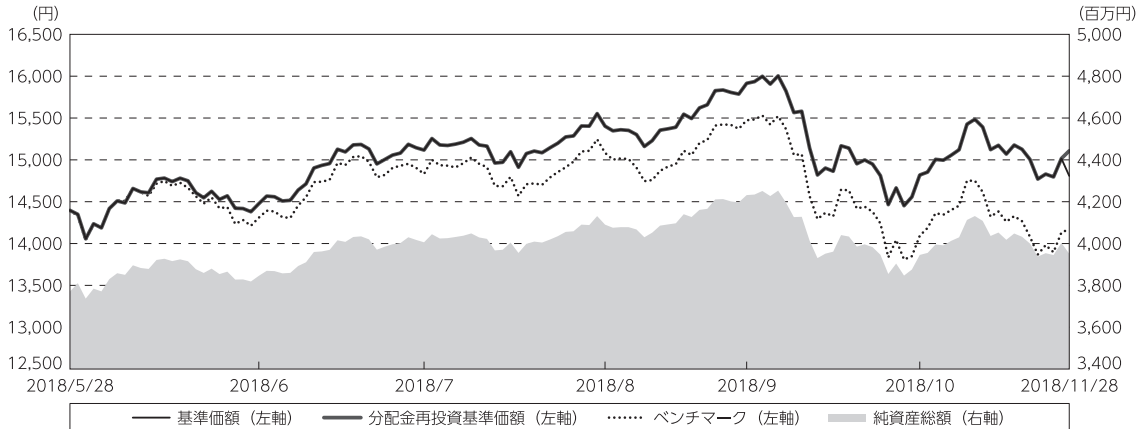
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年5月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCIワールド インデックス フリー (円換算ベース)です。ベンチマークは、作成期首(2018年5月28日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上 昇) イタリアで連立政権が発足するなど欧州政治が落ち着きを取り戻したこと、米経済指標や2018年4～6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと、米国と他国間の貿易協定に進展がみられたこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと
- (下 落) 米国の長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦への警戒感などから投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、欧州や中国の経済指標が市場予想を下回るなど世界的な景気減速への懸念が高まったこと

○投資環境

世界の株式市場は、当期初、堅調な米景気動向などに支えられる一方、米国の保護主義的な通商政策に対する懸念が再燃し投資家のリスク回避姿勢が強まるなど、一進一退の動きとなりました。7月以降は、米中貿易摩擦への懸念が重しとなるものの、7月上旬に発表された米経済指標や4－6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと、米国とメキシコ、カナダなどとの貿易協定に進展がみられたことなどを好感し、上昇傾向となりました。しかし、10月に入ると、米国の長期金利が上昇したことや、米中貿易摩擦、イタリア財政問題への警戒感などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。11月上旬には米国の中間選挙結果がおおむね市場予想通りとなったことなどを好感し上昇に転じましたが、その後当期末にかけては、世界的な景気減速への懸念を背景に下落し、当期において世界の株式市場は下落しました。

一方、為替市場では、日米金利差の拡大などを背景に米ドル高・円安が進行しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[グローバル・バリュー・オープン]

主要投資対象である [グローバル・バリュー・オープン マザーファンド] 受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

[グローバル・バリュー・オープン マザーファンド]

・組入比率

株式（投資信託証券を含む）組入比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 地域別比率につきましては、ベンチマークの地域別比率に留意しながら運用しました。
- (2) 業種別比率につきましては、収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断から、ヘルスケアや電気通信サービスセクターなどをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）としました。一方、金融や一般消費財・サービスセクターなどをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。
- (3) 銘柄につきましては、経営実績に対する信頼度が高いことや、配当利回りの観点から割安と判断したJOHNSON & JOHNSON（米国、医薬品）、AMGEN INC（米国、バイオテクノロジー）、ROCHE HOLDING（スイス、医薬品）、MICROSOFT CORP（米国、ソフトウェア）、UNITEDHEALTH GROUP INC（米国、ヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス）などを組入上位銘柄としました。
- (4) 為替ヘッジ（為替の売り予約）につきましては、当期は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

今期はベンチマーク（MSCIワールド インデックスフリー（円換算ベース））が1.6%の下落となったのに対して、基準価額は4.9%の上昇となりました。

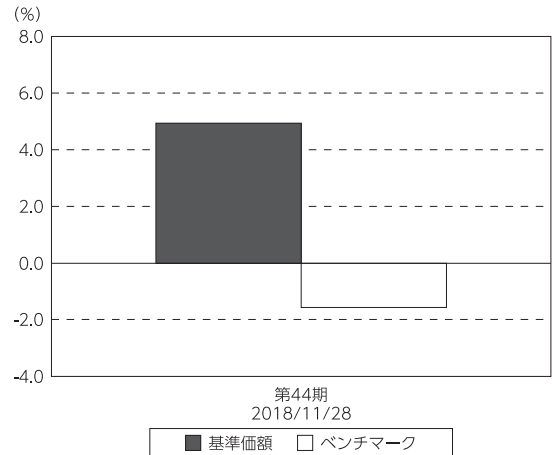
（主なプラス要因）

- ①収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断からオーバーウェイトとしていたヘルスケアセクターの株価騰落率がベンチマークを上回ったこと
- ②安定的な収益性や、過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた米国やスイスのヘルスケア株や、配当利回りが高く、過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた米国の生活必需品株などの株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

（主なマイナス要因）

- ①業績が金利動向の影響を受けやすく、金利上昇見通しを背景にアンダーウェイトとしていた公益事業セクターの株価騰落率がベンチマークを上回ったこと
- ②業績見通しと比べ株価の割安度が高く、過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた英国の資本財・サービス株や、配当利回りが高いことや過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた英国の生活必需品株などの株価騰落率がベンチマークを下回ったこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCIワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎分配金

- (1) 収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり300円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第44期 |
|--------------------|----------------------------|
| | 2018年5月29日～ 2018年11月28日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 300 1.986% |
| 当期の収益 | 300 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 7,669 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[グローバル・バリュー・オープン マザーファンド]

当ファンドの運用チームは、優れた企業の株式を割安な水準で買い付け、長期にわたって保有することにより大きなリターンを得られると考えています。

優れた企業に共通している特徴として、

- 1) 「強い社会的使命や遠大な理想」が企業の長期的ゴールとして浸透している
- 2) 自らの強みを徹底的に活かしている
- 3) 社内に収益の成長を持続させる「仕組み」が確立している

という3点が挙げられます。

ポートフォリオの構築に際しては、①主要国の金融政策の変更がマクロ景気及び金融市場に与える影響、②賃金や輸送費の上昇など企業収益に悪影響となるような要因、③政治的、地政学的なリスクが高まるような状況、などのリスク要因も意識した上で、

- (1) 安定した収益力と増配実績が確認でき、今後も業績の拡大が期待できる企業群、
- (2) 景気変動の波を超えて収益を生み出せる、差別化された商品や技術力、あるいはビジネスモデルを持った企業群、
- (3) 経営改革に注力し、収益性や株主還元策の改善が期待できる企業群、

などに注目していく方針です。

当ファンドは、グローバルに事業展開をし、かつ経営の質が高い割安株をポートフォリオの中核銘柄として注目しています。当ファンドで保有する企業の多くは収益基盤を着実に拡大させており、現在の配当利回りと成長余地を考慮すると、依然として投資価値は高いと考えます。2018年は米国の税制改革の恩恵もあり米企業を中心に大幅増益を達成する見込みです。2019年は景気サイクルの終盤に差し掛かるとみられ、各種コスト増や貿易戦争懸念などの経済的・政治的不透明感が高まる中、増配・自社株買い戻しによる積極的な株主還元が株価を支える要因として重要になるものと見ています。

上記の運用方針は、特定の国や業種に偏重しないように、リスク分散に留意しながら実行してまいります。また、引き続き株式の組入比率を高位に保ち、運用資産の長期的な成長を目指してまいります。なお、ファンドは組入外貨建資産の為替ヘッジについて、ヘッジ比率を0%におくことを基本としつつ、急激な円高が予想される場合には、投資環境、ヘッジコスト等を総合的に勘案しながら、弾力的に対応します。

[グローバル・バリュー・オープン]

主要投資対象である[グローバル・バリュー・オープン マザーファンド] 受益証券の組み入れを高位に維持し、基準価額の向上に努めます。長期的な視点でファンドの保有を継続していただきますよう、お願いいたします。

引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年5月29日～2018年11月28日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 124 | % 0.828 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (59) | (0.392) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| （ 販 売 会 社 ） | (57) | (0.381) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 |
| （ 受 託 会 社 ） | (8) | (0.054) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 2 | 0.010 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （ 株 式 ） | (2) | (0.010) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 1 | 0.010 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （ 株 式 ） | (1) | (0.010) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 3 | 0.023 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (3) | (0.021) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ そ の 他 ） | (0) | (0.000) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 130 | 0.871 | |
| 期中の平均基準価額は、14,994円です。 | | | |

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月29日～2018年11月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|-------------------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| グローバル・バリュー・オープン マザーファンド | 千口 55,545 | 千円 146,035 | 千口 69,886 | 千円 188,582 |

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年5月29日～2018年11月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------|-------------------------|--|
| | グローバル・バリュー・オープン マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 1,921,065千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 6,337,781千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.30 | |

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月29日～2018年11月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月28日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| グローバル・バリュー・オープン マザーファンド | 千口 1,468,511 | 千口 1,454,170 | 千円 3,943,420 |

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年11月28日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| グローバル・バリュー・オープン マザーファンド | 3,943,420 | 97.0 |
| コール・ローン等、その他 | 121,672 | 3.0 |
| 投資信託財産総額 | 4,065,092 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

*グローバル・バリュー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（6,152,546千円）の投資信託財産総額（6,584,734千円）に対する比率は93.4%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.79円、1カナダドル=85.52円、1英ポンド=144.96円、1スイスフラン=113.87円、1デンマーククローネ=17.21円、1ユーロ=128.40円、1香港ドル=14.54円、1新台湾ドル=3.68円、1ニュージーランドドル=77.30円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月28日現在)

○損益の状況 (2018年5月29日～2018年11月28日)

| 項 目 | 当 期 末 |
|------------------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 4,065,092,760 |
| コール・ローン等 | 121,671,851 |
| グローバル・バリュー・オープン マザーファンド(評価額) | 3,943,420,909 |
| (B) 負債 | 114,155,075 |
| 未払収益分配金 | 80,042,815 |
| 未払解約金 | 919,555 |
| 未払信託報酬 | 33,127,125 |
| 未払利息 | 256 |
| その他未払費用 | 65,324 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 3,950,937,685 |
| 元本 | 2,668,093,835 |
| 次期繰越損益金 | 1,282,843,850 |
| (D) 受益権総口数 | 2,668,093,835口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 14,808円 |

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|-----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 9,479 |
| 支払利息 | △ 9,479 |
| (B) 有価証券売買損益 | 215,983,452 |
| 売買益 | 223,916,582 |
| 売買損 | △ 7,933,130 |
| (C) 信託報酬等 | △ 33,192,449 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 182,781,524 |
| (E) 前期繰越損益金 | 952,206,585 |
| (F) 追加信託差損益金 | 227,898,556 |
| (配当等相当額) | (990,684,520) |
| (売買損益相当額) | (△ 762,785,964) |
| (G) 計(D+E+F) | 1,362,886,665 |
| (H) 収益分配金 | △ 80,042,815 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 1,282,843,850 |
| 追加信託差損益金 | 227,898,556 |
| (配当等相当額) | (991,218,971) |
| (売買損益相当額) | (△ 763,320,415) |
| 分配準備積立金 | 1,054,945,294 |

(注) 期首元本額は2,619,248,851円、期中追加設定元本額は151,859,368円、期中一部解約元本額は103,014,384円、1口当たり純資産額は1,4808円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額13,199,854円。(グローバル・バリュー・オープン マザーファンド)

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年5月29日～2018年11月28日)は以下の通りです。

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------------|----------------------------|
| | 2018年5月29日～ 2018年11月28日 |
| a. 配当等収益(経費控除後) | 43,291,688円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 104,759,467円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 991,218,971円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 986,936,954円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 2,126,207,080円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 7,969円 |
| g. 分配金 | 80,042,815円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 300円 |

○分配金のお知らせ

| | |
|----------------|------|
| 1万口当たり分配金(税込み) | 300円 |
|----------------|------|

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日2018年11月28日）

作成対象期間（2017年11月29日～2018年11月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | 株式への投資にあたっては、配当利回り等の各種バリュー指標をもとに、ポートフォリオマネージャーの判断に基づき割安と思われる銘柄に投資を行うことを基本とします。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産の為替ヘッジについては、弾力的に為替ヘッジ比率の変更を行うことを基本とします。 |
| 主な投資対象 | 内外の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準 額 | 騰落率 | | ベンチマーク 騰落率 | | 株式 組入比率 | 株式 先物比率 | 純資 産額 |
|------------------|---------|-----|------|---------------|------|------------|------------|----------|
| | | 騰 | 落 | 騰 | 落 | | | |
| | 円 | | % | | % | % | % | 百万円 |
| 13期(2014年11月28日) | 20,506 | | 29.0 | | 24.4 | 98.8 | — | 5,713 |
| 14期(2015年11月30日) | 21,379 | | 4.3 | | 1.1 | 99.1 | — | 5,928 |
| 15期(2016年11月28日) | 21,192 | △ | 0.9 | △ | 7.2 | 98.8 | — | 5,732 |
| 16期(2017年11月28日) | 25,550 | | 20.6 | | 18.0 | 98.5 | — | 6,194 |
| 17期(2018年11月28日) | 27,118 | | 6.1 | △ | 0.2 | 97.9 | — | 6,584 |

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*ベンチマーク(=MSCIワールドインデックスフリー(円換算ベース))は、MSCI World Index Free(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
*MSCI World Index Freeに関する著作権、およびその他の知的所有権はMSCI社に帰属しております。
(出所) MSCI、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

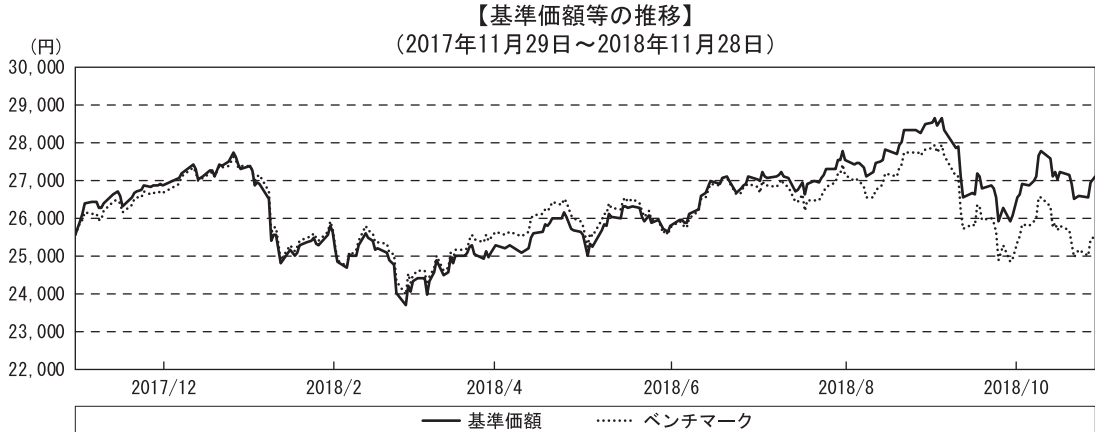
| 年月日 | 基準 額 | 騰落率 | | ベンチマーク 騰落率 | | 株式 組入比率 | 株式 先物比率 |
|---------------------|-------------|-----|--------|---------------|--------|------------|------------|
| | | 騰 | 落 | 騰 | 落 | | |
| (期首) 2017年11月28日 | 円 25,550 | | % — | | % — | % 98.5 | % — |
| 11月末 | 26,130 | | 2.3 | | 1.5 | 98.3 | — |
| 12月末 | 26,877 | | 5.2 | | 4.4 | 98.4 | — |
| 2018年1月末 | 26,890 | | 5.2 | | 5.5 | 98.3 | — |
| 2月末 | 25,623 | | 0.3 | | 0.7 | 99.0 | — |
| 3月末 | 24,403 | △ | 4.5 | △ | 3.7 | 98.5 | — |
| 4月末 | 25,291 | △ | 1.0 | | 0.3 | 98.7 | — |
| 5月末 | 25,342 | △ | 0.8 | | 0.3 | 97.1 | — |
| 6月末 | 25,803 | | 1.0 | | 0.8 | 97.3 | — |
| 7月末 | 26,986 | | 5.6 | | 4.5 | 97.4 | — |
| 8月末 | 27,536 | | 7.8 | | 6.2 | 97.1 | — |
| 9月末 | 28,489 | | 11.5 | | 9.0 | 97.6 | — |
| 10月末 | 26,561 | | 4.0 | △ | 0.7 | 97.4 | — |
| (期末) 2018年11月28日 | 27,118 | | 6.1 | △ | 0.2 | 97.9 | — |

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、MSCIワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首25,550円から期末27,118円となりました。

- (上 昇) 米税制改革法案成立への期待が高まったこと、堅調な米国および中国の経済指標を好感したこと
- (下 落) 米国の長期金利上昇などをきっかけに米国株式市場が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、米通商・外交政策への不透明感が高まったこと、米中貿易摩擦への懸念が高まったこと、為替市場で米ドル安・円高が進行したこと
- (上 昇) 米中貿易摩擦への過度の警戒感が後退したこと、2018年1～3月期の欧米企業決算が総じて市場予想を上回ったこと、堅調な米経済指標を好感したこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと
- (上 昇) 4～6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと、米国と他国間の貿易協定に進展がみられたこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと
- (下 落) 米国の長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦への警戒感などから投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、欧州や中国の経済指標が市場予想を下回るなど世界的な景気減速懸念が高まったこと

○当ファンドのポートフォリオ

○組入比率

株式（投資信託証券を含む）組入比率はおおむね高位を維持しました。

○期中の主な動き

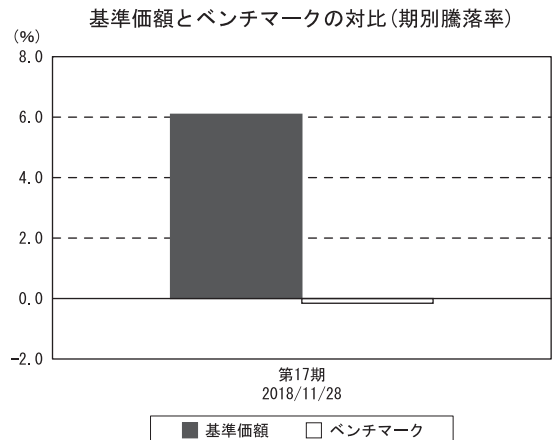
- (1) 地域別比率につきましては、ベンチマークの地域別比率に留意しながら運用しました。
- (2) 業種別比率につきましては、収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断から、ヘルスケアや生活必需品セクターなどをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）としました。一方、金融や公益事業セクターなどをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。
- (3) 銘柄につきましては、経営実績に対する信頼度が高いことや、配当利回りの観点から割安と判断したJOHNSON & JOHNSON（米国、医薬品）、AMGEN INC（米国、バイオテクノロジー）、ROCHE HOLDING（スイス、医薬品）、MICROSOFT CORP（米国、ソフトウェア）、UNITEDHEALTH GROUP INC（米国、ヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス）などを組入上位銘柄としました。
- (4) 為替ヘッジ（為替の売り予約）につきましては、当期は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当期は、ベンチマーク（MSCIワールド インデックス フリー（円換算ベース））が0.2%の下落となったのに対して、基準価額は6.1%の上昇となりました。

（主なプラス要因）

- ①収益力や増配の実績、および配当利回りで見た割安度の判断からオーバーウェイトとしていたヘルスケアセクターの株価騰落率がベンチマークを上回ったこと、競争力のある金融サービスを提供する会社を選別的に保有するに留めることでアンダーウェイトとしていた金融セクターの株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②収益見通しが良好であることに加え、過去からの増配実績を評価してオーバーウェイトとしていた米国のヘルスケア株や、過去からの増配実績に加え、収益の質の改善が進み、今後も株主還元強化が期待できる点などを評価してオーバーウェイトとしていた米国のIT（情報技術）株などの株価騰落率がベンチマークを上回ったこと



（注）ベンチマークは、MSCIワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

(主なマイナス要因)

- ①配当利回りが高いことや過去からの増配実績などを評価してオーバーウェイトとしていた英国の生活必需品株や、収益の安定化と今後の株主還元強化を期待してオーバーウェイトとしていた日本の一般消費財・サービス株などの株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②株主還元が経営陣の主要課題となっておらず、無配銘柄であることなどから非保有としていた米国の一般消費財・サービス株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

◎今後の運用方針

当ファンドの運用チームは、優れた企業の株式を割安な水準で買い付け、長期にわたって保有することにより大きなリターンを得られると考えています。

優れた企業に共通している特徴として、

- 1) 「強い社会的使命や遠大な理想」が企業の長期的ゴールとして浸透している
- 2) 自らの強みを徹底的に活かしている
- 3) 社内に収益の成長を持続させる「仕組み」が確立している

という3点が挙げられます。

ポートフォリオの構築に際しては、①主要国の金融政策の変更がマクロ景気及び金融市場に与える影響、②賃金や輸送費の上昇など企業収益に悪影響となるような要因、③政治的、地政学的なリスクが高まるような状況、などのリスク要因も意識した上で、

- (1) 安定した収益力と増配実績が確認でき、今後も業績の拡大が期待できる企業群、
- (2) 景気変動の波を超えて収益を生み出せる、差別化された商品や技術力、あるいはビジネスモデルを持った企業群、
- (3) 経営改革に注力し、収益性や株主還元策の改善が期待できる企業群、

などに注目していく方針です。

当ファンドは、グローバルに事業展開をし、かつ経営の質が高い割安株をポートフォリオの中核銘柄として注目しています。当ファンドで保有する企業の多くは収益基盤を着実に拡大させており、現在の配当利回りや成長余地を考慮すると、依然として投資価値は高いと考えます。2018年は米国の税制改革の恩恵もあり米企業を中心に大幅増益を達成する見込みです。2019年は景気サイクルの終盤に差し掛かるとみられ、各種コスト増や貿易戦争懸念などの経済的・政治的不透明感が高まる中、増配・自社株買い戻しによる積極的な株主還元が株価を支える要因として重要になるものと見ています。

上記の運用方針は、特定の国や業種に偏重しないように、リスク分散に留意しながら実行してまいります。また、引き続き株式の組入比率を高位に保ち、運用資産の長期的な成長を目指してまいります。なお、ファンドは組入外貨建資産の為替ヘッジについて、ヘッジ比率を0%におくことを基本としつつ、急激な円高が予想される場合には、投資環境、ヘッジコスト等を総合的に勘案しながら、弾力的に対応します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月29日～2018年11月28日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---|---------------------|-----------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 円 7 (7) | % 0.025 (0.025) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) | 5 (5) | 0.018 (0.018) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 10 (10) (0) | 0.037 (0.037) (0.000) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 22 | 0.080 | |
| 期中の平均基準価額は、26,327円です。 | | | |

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月29日～2018年11月28日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|---------|-------|--------------------|-------------------------|-----------------|---------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国内 | 上場 | 千株 148 | 千円 239,705 | 千株 87 | 千円 149,080 |
| | アメリカ | 百株 913 (-) | 千米ドル 7,974 (△ 12) | 百株 1,059 | 千米ドル 9,030 |
| 外 国 | カナダ | - | 千カナダドル - | 89 | 千カナダドル 611 |
| | イギリス | 1,519 | 千英ポンド 1,156 | 3,244 | 千英ポンド 2,226 |
| | スイス | 68 | 千スイスフラン 602 | - | 千スイスフラン - |
| | デンマーク | 93 | 千デンマーククローネ 2,650 | 132 | 千デンマーククローネ 4,496 |
| | ユーロ | | 千ユーロ | | 千ユーロ |
| | ドイツ | 232 | 2,055 | 14 | 284 |
| | フランス | - | - | 51 | 120 |
| | イギリス | 37 (524) | 64 (996) | - | - |
| | オランダ | 122 (△ 524) | 217 (△ 996) | - | - |
| | スペイン | 160 | 711 | - | - |
| ルクセンブルグ | - | - | 58 | 397 | |
| 香港 | 978 | 千香港ドル 6,789 | 7,850 | 千香港ドル 8,439 | |
| 台湾 | 890 | 千新台幣ドル 17,796 | 180 | 千新台幣ドル 2,179 | |

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年11月29日～2018年11月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 3,812,576千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 6,285,474千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.60 |

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月29日～2018年11月28日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | |
|-----|--------------|--------------------|----------|--------------|--------------------|--------|
| | | B A | % | | D C | % |
| 株式 | 百万円 1,973 | 百万円 15 | % 0.8 | 百万円 1,839 | 百万円 — | % — |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 1,612千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 7千円 |
| (B) / (A) | 0.5% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2018年11月28日現在)

国内株式

| 銘 柄 | 期首(前期末) | | 当 期 | | 末 |
|--------------------|---------------|------|-----|------|----------|
| | 株 数 | 株 数 | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| 建設業 (11.7%) | | 千株 | | 千株 | 千円 |
| 大和ハウス工業 | | 12.3 | | 12.3 | 43,763 |
| 化学 (9.7%) | | | | | |
| 三菱ケミカルホールディングス | | — | | 38.8 | 36,343 |
| 機械 (10.8%) | | | | | |
| 小松製作所 | | — | | 13.7 | 40,558 |
| 電気機器 (38.3%) | | | | | |
| 三菱電機 | | 23 | | 67.9 | 99,982 |
| 富士通ゼネラル | | 37.3 | | 27 | 43,767 |
| 情報・通信業 (29.5%) | | | | | |
| KDDI | | 38.1 | | 40.7 | 110,663 |
| 保険業 (—%) | | | | | |
| ソニーフィナンシャルホールディングス | | 28.3 | | — | — |
| 合 計 | 株 数 | 139 | 株 数 | 200 | 375,079 |
| | 銘 柄 数 < 比 率 > | 5 | | 6 | < 5.7% > |

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | 業 種 等 |
|------------------------------|---------|-----|-------|---------|-------------------------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (アメリカ) | 百株 | 百株 | 千米ドル | 千円 | |
| ABBOTT LABORATORIES | 90 | 90 | 627 | 71,390 | ヘルスケア機器・用品 |
| ABBVIE INC | 46 | 78 | 683 | 77,821 | バイオテクノロジー |
| ALTRIA GROUP INC | 83 | — | — | — | タバコ |
| AMERISOURCEBERGEN CORP | 35 | — | — | — | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス |
| AMGEN INC | 97 | 98 | 1,931 | 219,794 | バイオテクノロジー |
| APPLE INC | 90 | 90 | 1,568 | 178,440 | コンピュータ・周辺機器 |
| BECTON, DICKINSON | 15 | 15 | 365 | 41,563 | ヘルスケア機器・用品 |
| BLACKROCK INC | 13 | 17 | 709 | 80,696 | 資本市場 |
| BROADCOM INC | — | 52 | 1,226 | 139,542 | 半導体・半導体製造装置 |
| CVS HEALTH CORP | 115 | 152 | 1,208 | 137,503 | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス |
| CHEVRON CORP | 54 | 54 | 627 | 71,435 | 石油・ガス・消耗燃料 |
| CISCO SYSTEMS | 376 | 248 | 1,143 | 130,150 | 通信機器 |
| COMCAST CORP-CL A | 294 | 313 | 1,200 | 136,624 | メディア |
| COSTCO WHOLESALE CORPORATION | — | 22 | 490 | 55,827 | 食品・生活必需品小売り |
| EXXON MOBIL CORP | 164 | 144 | 1,109 | 126,252 | 石油・ガス・消耗燃料 |
| FOOT LOCKER INC | — | 69 | 377 | 42,994 | 専門小売り |
| GILEAD SCIENCES INC | 30 | — | — | — | バイオテクノロジー |
| GRAINGER(W.W.) INC | 19 | — | — | — | 商社・流通業 |
| HOME DEPOT | 54 | 44 | 762 | 86,727 | 専門小売り |
| JPMORGAN CHASE & CO | 93 | 89 | 976 | 111,116 | 銀行 |
| JOHNSON & JOHNSON | 128 | 157 | 2,248 | 255,862 | 医薬品 |
| L BRANDS, INC | 170 | — | — | — | 専門小売り |
| MARSH & MCLENNAN COS | 73 | 73 | 626 | 71,321 | 保険 |
| MASTERCARD INC | 15 | 21 | 405 | 46,114 | 情報技術サービス |
| MAXIM INTEGRATED PRODUCTS | 87 | 83 | 461 | 52,511 | 半導体・半導体製造装置 |
| MICROSOFT CORP | 183 | 155 | 1,660 | 188,967 | ソフトウェア |
| MICROCHIP TECHNOLOGY | — | 35 | 257 | 29,356 | 半導体・半導体製造装置 |
| NORTHERN TRUST CORP | 89 | 78 | 760 | 86,492 | 資本市場 |
| ORACLE CORPORATION | 143 | 143 | 678 | 77,194 | ソフトウェア |
| PAYCHEX INC | 160 | 115 | 798 | 90,824 | 情報技術サービス |
| PEPSICO INC | 95 | 125 | 1,455 | 165,621 | 飲料 |
| PHILIP MORRIS INTERNATIONAL | 174 | 174 | 1,480 | 168,500 | タバコ |
| PRAXAIR INC | 53 | — | — | — | 化学 |
| RPM INTERNATIONAL INC | 67 | — | — | — | 化学 |
| ROSS STORES INC | 109 | 101 | 835 | 95,079 | 専門小売り |
| S&P GLOBAL INC | 51 | 23 | 407 | 46,334 | 資本市場 |
| SMITH (A.O.) CORP | — | 74 | 341 | 38,826 | 建設関連製品 |
| SNAP-ON INC | 59 | 48 | 769 | 87,576 | 機械 |
| SUNCOR ENERGY INC | 202 | 252 | 820 | 93,394 | 石油・ガス・消耗燃料 |
| TJX COS INC | 24 | — | — | — | 専門小売り |
| 3M CORP | 36 | 52 | 1,061 | 120,759 | コングロマリット |
| US BANCORP | 162 | 208 | 1,117 | 127,146 | 銀行 |
| UNION PAC CORP | 27 | 49 | 722 | 82,174 | 陸運・鉄道 |
| UNITED PARCEL SERVICE-CL B | 88 | 51 | 576 | 65,549 | 航空貨物・物流サービス |
| UNITEDHEALTH GROUP INC | 63 | 58 | 1,597 | 181,792 | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス |
| WELLS FARGO CO | — | 27 | 143 | 16,341 | 銀行 |
| TE CONNECTIVITY LTD | 48 | 97 | 717 | 81,645 | 電子装置・機器・部品 |
| COPA HOLDINGS SA-CLASS A | — | 74 | 601 | 68,433 | 旅客航空輸送業 |

| 銘柄 | 株数 | 金額 | 期首(前期末) | | 当期 | | 業種等 |
|--|------------------|-------------|---------------------|-------------|----------------------|----|----------------|
| | | | 株数 | 金額 | 評価 | 価額 | |
| | | | | | | | |
| (アメリカ) BROADCOM LTD | 百株 20 | 百株 — | 千米ドル — | 千円 — | — | — | 半導体・半導体製造装置 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 3,997 42 | 3,851 40 | 35,554 — | 4,045,705 <61.4%> | — | — |
| (カナダ) ENBRIDGE INC | 113 | 113 | 千カナダドル 480 | 41,080 | — | — | 石油・ガス・消耗燃料 |
| NATIONAL BANK OF CANADA | 188 | 139 | 834 | 71,383 | — | — | 銀行 |
| TORONTO DOMINION BANK | 130 | 90 | 647 | 55,378 | — | — | 銀行 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 431 3 | 342 3 | 1,962 — | 167,842 <2.5%> | — | — |
| (イギリス) BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC | 147 | 185 | 千英ポンド 505 | 73,226 | — | — | タバコ |
| IMPERIAL BRANDS PLC | — | 33 | 81 | 11,783 | — | — | タバコ |
| BABCOCK INTL GROUP PLC | 381 | 858 | 493 | 71,509 | — | — | 商業サービス・用品 |
| ASTRAZENECA PLC | 146 | 69 | 423 | 61,462 | — | — | 医薬品 |
| BT GROUP PLC | 1,185 | 1,346 | 354 | 51,340 | — | — | 各種電気通信サービス |
| INMARSAT PLC | 1,074 | 477 | 205 | 29,755 | — | — | 各種電気通信サービス |
| COMPASS GROUP PLC | 509 | 217 | 366 | 53,157 | — | — | ホテル・レストラン・レジャー |
| NATIONAL GRID PLC | — | 500 | 420 | 60,940 | — | — | 総合公益事業 |
| ROTORK PLC | 1,917 | — | — | — | — | — | 機械 |
| CRODA INTERNATIONAL PLC | 119 | 68 | 332 | 48,214 | — | — | 化学 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 5,483 8 | 3,757 9 | 3,182 — | 461,390 <7.0%> | — | — |
| (スイス) ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE) | 61 | 73 | 千スイスフラン 1,841 | 209,725 | — | — | 医薬品 |
| ADECCO GROUP AG-REG | 32 | 87 | 425 | 48,452 | — | — | 専門サービス |
| NESTLE SA-REG | 95 | 95 | 806 | 91,811 | — | — | 食品 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 188 3 | 256 3 | 3,073 — | 349,989 <5.3%> | — | — |
| (デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B | 213 | 174 | 千デンマーククローネ 5,247 | 90,314 | — | — | 医薬品 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 213 1 | 174 1 | 5,247 — | 90,314 <1.4%> | — | — |
| (ユーロ…ドイツ) ADIDAS AG | — | 23 | 千ユーロ 473 | 60,756 | — | — | 繊維・アパレル・贅沢品 |
| SAP SE | 67 | 67 | 610 | 78,341 | — | — | ソフトウェア |
| HENKEL AG & CO KGAA | — | 81 | 747 | 95,943 | — | — | 家庭用品 |
| BASF SE | — | 22 | 144 | 18,534 | — | — | 化学 |
| ALLIANZ SE-REG | 17 | 17 | 336 | 43,257 | — | — | 保険 |
| MUENCHENER RUECKVER AG-REG | 13 | 10 | 207 | 26,600 | — | — | 保険 |
| DAIMLER AG-REGISTERED SHARES | — | 94 | 476 | 61,232 | — | — | 自動車 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 99 3 | 316 7 | 2,995 — | 384,667 <5.8%> | — | — |
| (ユーロ…フランス) AXA | 114 | 62 | 133 | 17,100 | — | — | 保険 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 114 1 | 62 1 | 133 — | 17,100 <0.3%> | — | — |
| (ユーロ…イギリス) RELX PLC | — | 561 | 1,039 | 133,427 | — | — | 専門サービス |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | — — | 561 1 | 1,039 — | 133,427 <2.0%> | — | — |

| 銘柄 | 株数 | 当 期 末 | | 業 種 等 | |
|--|------------------------------|--------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| | | 株 数 | 評 価 額 | | |
| | | 株 数 | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (ユーロ…オランダ) RELX NV | 百株 402 | 百株 — | 千ユーロ — | 千円 — | 専門サービス |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | 402 1 | — — | — <—%> | |
| (ユーロ…スペイン) INDITEX SA AENA SME SA | — — | 135 24 | 364 348 | 46,832 44,787 | 専門小売り 運送インフラ |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | — — | 160 2 | 713 — | 91,620 <1.4%> |
| (ユーロ…ルクセンブルグ) RTL GROUP | 58 | — | — | — | メディア |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | 58 1 | — — | — <—%> | |
| ユ ー ロ 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | 673 6 | 1,101 11 | 4,881 — | 626,815 <9.5%> |
| (香港) CHINA TELECOM CORP LTD-H PING AN INSURANCE GROUP CO-H AIA GROUP LTD HKT TRUST AND HKT LTD | 4,580 — 1,098 8,010 | — 620 896 5,300 | 千香港ドル — 4,665 5,765 6,052 | — 67,836 83,834 88,004 | 各種電気通信サービス 保険 保険 各種電気通信サービス |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | 13,688 3 | 6,816 3 | 16,483 — | 239,675 <3.6%> |
| (台湾) DELTA ELECTRONICS INC TAIWAN SEMICONDUCTOR | 813 — | 923 600 | 千新台幣ドル 11,676 13,440 | 42,968 49,459 | 電子装置・機器・部品 半導体・半導体製造装置 |
| 小 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | 813 1 | 1,523 2 | 25,116 — | 92,428 <1.4%> |
| 合 計 | 株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 > | 25,489 67 | 17,822 72 | — — | 6,074,160 <92.2%> |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2018年11月28日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 株式 | 千円 6,449,239 | % 97.9 |
| コール・ローン等、その他 | 135,495 | 2.1 |
| 投資信託財産総額 | 6,584,734 | 100.0 |

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (6,152,546千円) の投資信託財産総額 (6,584,734千円) に対する比率は93.4%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.79円、1カナダドル=85.52円、1英ポンド=144.96円、1スイスフラン=113.87円、1デンマーククローネ=17.21円、1ユーロ=128.40円、1香港ドル=14.54円、1新台幣ドル=3.68円、1ニュージーランドドル=77.30円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月28日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 6,584,734,527 |
| コール・ローン等 | 120,168,986 |
| 株式(評価額) | 6,449,239,959 |
| 未収入金 | 485,655 |
| 未収配当金 | 14,839,927 |
| (B) 負債 | 108 |
| 未払利息 | 108 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 6,584,734,419 |
| 元本 | 2,428,144,020 |
| 次期繰越損益金 | 4,156,590,399 |
| (D) 受益権総口数 | 2,428,144,020口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 27,118円 |

(注) 期首元本額は2,424,332,140円、期中追加設定元本額は245,304,118円、期中一部解約元本額は241,492,238円、1口当たり純資産額は2,7118円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・グローバル・バリュー・オープン 1,454,170,997円
 ・グローバル・バリュー・オープン(確定拠出年金向け) 973,973,023円

○損益の状況 (2017年11月29日～2018年11月28日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 166,365,926 |
| 受取配当金 | 163,118,892 |
| 受取利息 | 17,530 |
| その他収益金 | 3,270,142 |
| 支払利息 | △ 40,638 |
| (B) 有価証券売買損益 | 215,457,466 |
| 売買益 | 604,780,452 |
| 売買損 | △ 389,322,986 |
| (C) 保管費用等 | △ 2,390,368 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 379,433,024 |
| (E) 前期繰越損益金 | 3,769,769,117 |
| (F) 追加信託差損益金 | 402,101,498 |
| (G) 解約差損益金 | △ 394,713,240 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 4,156,590,399 |
| 次期繰越損益金(H) | 4,156,590,399 |

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。